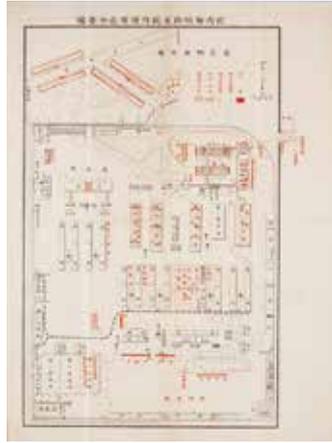


● 大正期の行幸・行啓

大正六年（一九一七）、大正天皇は、千葉郡二宮村（現・船橋市）の陸軍騎兵学校へ終業式にあわせて行幸しました。

東京府荏原郡目黒村（現・東京都目黒区）にあった陸軍騎兵実施学校は、大正五年、この地に移転し、翌六年には陸軍騎兵学校と名称を改めました。移転に伴い、明治天皇が使用された御馬見所も移築されました。大正天皇は御馬見所で関係者の拝謁を受け、その後馬術や戦闘訓練などを天覧しました。大正期にはこういった軍関係施設への行幸・行啓が中心でした。



15 校内御巡路及校内使用区分要図

大正六年（一九一七）

宮内公文書館蔵

校内施設の位置や、用途のほか、行幸当日の校内での御進路が記されています。

● 皇太子（昭和天皇）の

ヨーロッパ御訪問と千葉

昭和天皇は皇太子時代の 大正十年、ヨーロッパを歴訪しました。帰還前日の九月二日、館山沖に御仮泊されました。当時の県知事折原巳一郎は皇太子に拝謁し、梨、ぶどう、車海老を献上しました。また、地元中学校生徒の水泳なども台覧されました。

17 皇太子殿下海外御巡遊記

第百十六章

昭和前期／宮内公文書館蔵

宮内省御用掛山本信次郎らが編さんした御訪欧記録です。館山湾での奉迎や、艦上での晩餐の様子などが記載されています。

（台覧…皇族が御覧になること）



● 「戦後」の行幸

昭和二十年代の千葉

昭和天皇の戦後の千葉県への行幸は昭和二十一年（一九四六）の千葉県下地方状況御視察が最初となります。その後、二十五年の第十九回全日本学生陸上競技対校選手権大会や、二十八年の第四回植樹祭などへも行幸されています。

18 植樹祭写真

昭和二十八年（一九五三）

千葉県文書館蔵

昭和天皇と香淳皇后は昭和二十八年四月四日、君津郡富津海岸（現・富津市）で行われた植樹祭に行幸啓され、記念樹としてクロマツをお手植えされました。

